

取引環境と長時間労働の改善に向けた取組みを進めませんか？

荷主

と 運送事業者

の協力による

取引環境と長時間労働の改善に向けた ガイドライン

トラック運転者の長時間労働等の問題点・課題を改善するための具体的な事例を交えたガイドラインをまとめました！

荷待ち時間が発生している



計画的な配車ができない



要求されたリードタイムが短すぎる



荷役に時間がかかる



このような問題を解決するため是非ガイドラインをご活用下さい！

ガイドラインのイメージは裏面のとおりです。

詳細は以下の国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000022.html

(ガイドライン、様々な品目の事例集は当該ページの下段に掲載されています。)

※右記のQRコードをスマートフォン等で読み取り、ご覧いただくことも可能です。



<問い合わせ>

- ・関東運輸局 山梨運輸支局 企画輸送監査担当
- ・厚生労働省 山梨労働局 労働基準部 監督課
- ・一般社団法人 山梨県トラック協会

TEL:055-261-0880

TEL:055-225-2853

TEL:055-262-5561

ガイドラインについて（抜粋）

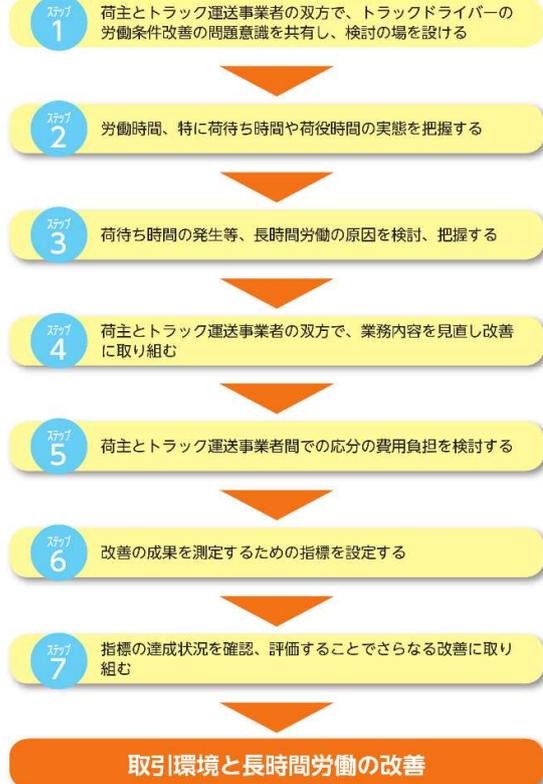
平成28年度及び29年度に各都道府県で実施したパイロット事業で得られた長時間労働改善等の知見や、荷主とトラック事業者の協力による取組みを紹介。

荷主と運送事業者の協力による

取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン

厚生労働省 労働基準局 労働条件政策課
国土交通省 自動車局 貨物課
公益社団法人 全日本トラック協会

改善に向けたステップ



荷主とトラック事業者の協力による改善の取組みの進め方を紹介。

ステップごとの取組みの具体的なイメージと流れ

ステップ1 問題意識を共有する場の設置

輸送にかかわる関係者が**全員集まる**のが理想！

ステップ2 労働時間、特に荷待ち時間や荷役時間の把握

拘束時間（運転時間、荷待ち時間、荷役時間等）の実態をきちんと**数字で把握**する！

項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	
0時	1	7:00	23:30	6:23	4:15	2:16	1:30	2:13	14:20	8:00
0時	3	7:30	23:45	7:00	3:45	2:40	1:10	2:00	14:35	7:45
0時	1	7:00	23:30	6:23	4:15	2:16	1:30	2:13	14:20	8:00

ステップ3 長時間労働の原因を把握（例えば荷待ちや荷役発生の原因など）

荷待ちや荷役時間が原因で拘束時間が長い場合「**なぜ荷待ちが起きるか**」「**なぜ荷役に時間がかかるか**」を把握する

ステップ4 業務内容を見直し、改善に取り組む

時間がかかっている**作業の内容を見直し**、改善への取組みを検討！

出荷前の荷扱いは？
手荷役作業？

ステップ5 応分の費用負担を検討

改善のための**費用負担**について関係者間で協議

ステップ6 成果測定のための指標を設定

できるだけ具体的な**数値で目標を設定**！

荷待ち時間	拘束時間	休息期間
4:15	16:30	8:00
3:45	16:35	7:45

30分以内に 13時間以内に 8時間以上に

ステップ7 目標数値と実績値を比較・検証、さらなる改善へ！